



## 「廃油で石けんを作ってみよう」

3月15日(金)、弥富9区 齊藤洋子 様に講師をしていただき、第3回目の「物作り教室」を開催し、13名の参加がありました。今回は、廃油を使って石けんを作りました。

まず簡単に材料と作り方の説明をしていただきました。

【材料】廃油300ml 苛性ソーダ40g 水100cc 蓋付きペットボトル(500ml) 牛乳パック ゴム手袋など

【作り方】※苛性ソーダは劇薬のため、熟成が終わるまでは、必ずゴム手袋などを付けて作業する。①ペットボトルの中に水を入れる。②その水の中に苛性ソーダを少しずつ入れて溶かす。(温度が上昇するので、上下に激しく振らずに、優しく円を描くように振る。)③苛性ソーダが完全に溶け、温度が人肌くらいに冷めたら、廃油をペットボトルに入れる。④ペットボトルの蓋をきちんと閉め、もったりするまでよく振る。(30分くらい)⑤もったりとしてきたら牛乳パックへ移し、数日間置く。(固まるまで)⑥固まったら牛乳パックから出し、適当な大きさに切って、約1カ月熟成させたら石けんの完成♪

説明をしていただいた後、ゴム手袋を装備して早速作っていききました。

苛性ソーダを溶かす作業では、だんだん温度が上昇してくると、ペットボトルの種類によっては、熱さで変形してしまったものもあり、皆さん「ちょっと怖いね。」と恐る恐るペットボトルを振られていました。

苛性ソーダが完全に溶け、冷めたら、廃油を入れてもったりするまでよく振りましようということで、もったりするまで30分以上かかりました。皆さん「ええ運動になるね。」と頑張って振られていました。

最後に牛乳パックへ移し、先生から「靴下などもみ洗する物に使ってね。」と使い方も教えていただき、皆さんも「やってみよう。」と使うのを楽しみにされていました。



来年度の物作り教室も

是非ご参加ください♪

